

お米農家さん

いすみ市に移住して6年

バイトしたり

直売所と
介護施設で
かけもちバイト

結農園を立ち上げて5年



和菓子を作って
販売したり
米袋に
絵を描いたら



これまで
自分たちの生活を
成り立たせようと
取り組んできました

ト・ク・タ・ー・こ・め・た・ー

軽・土・ラ・モ
こ・わ・れ・そ・う・
30年もの中古だから

仕・方・な・り・ぬ・
また



あれこれやるなかで
周囲の状況が見えてきて
これまでとは比べものにならない
大きな問題が自分たちを
待ち構えていることが分かりました





現在
身の周りの農家さんは
ほぼ70歳以上…



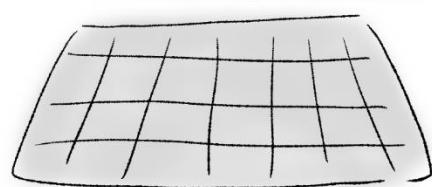
ということは
5年後を想像してみると
まだ田んぼをやっている人は
おそらく数える程度になっている
ことは容易に想像がつきます

ということは
膨大な田んぼが空いてしまって
その耕作依頼が自分に
集中してくるということ！！

この地域で若手の農家は
自分だけだから
長くやってくれそうな自分に
白羽の矢が立つのは明らか。

その大部分が自分に
向かされることになります。

それが20ヘクタールい？！



結農園の田んぼの栽培面積は
現在3ヘクタール

この地域の田んぼは
20ヘクタールくらい
あります



増やし過ぎて管理が回らず、
収益を落としたり、
それが原因で廃業しているところを見たり聞いたりしてきました。



大規模農家は
人を雇つて80ヘクタール
くらいやっている
所もありますが

できたお米は直接販売することで収益を確保しようとしているので大規模化は考えていません



そういうこともあって
今のところはやみくもに
田んぼを増やす
経費を抑えて

自分たちは恩義を感じて
いるので
できるだけ
応えたいと
思っています。

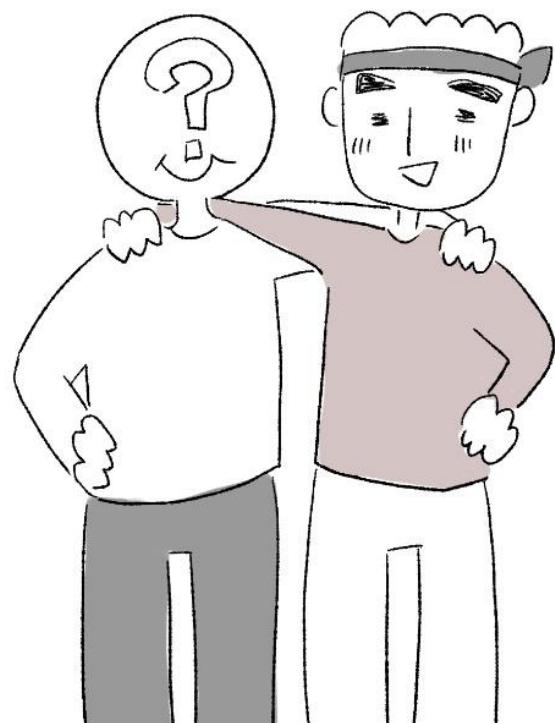
自分たちを
受け入れてくれて
温かく接して
くれている
周りの人たちや
地域に対して

依頼が来ても
「これ以上はやりません」と
断ることもできるのですが



生活ができるくらいの
規模になつたら

この矛盾を克服するために考えたのが
「自分みたいな人をもう一人増やすこと」



自分はあんまり田んぼをやりたくない。
でも地域の人達の想いには応えたい。

もう一人居れば
この地域の田んぼは
無理せずに担つていけるんです

知り合いも居ない
家もない
機械もない
田んぼもない
お金もない

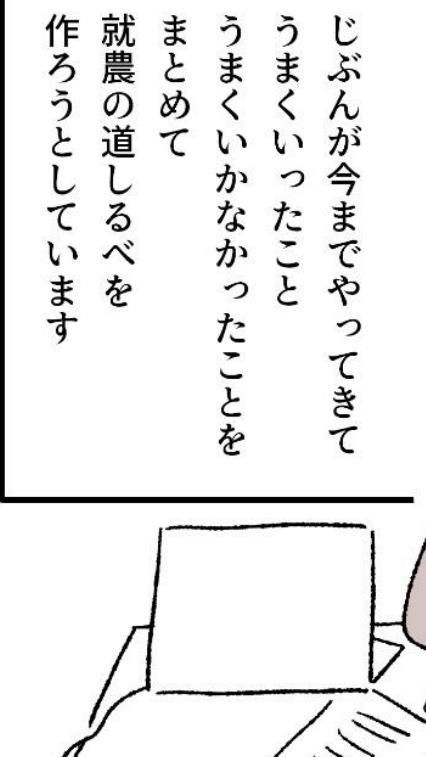
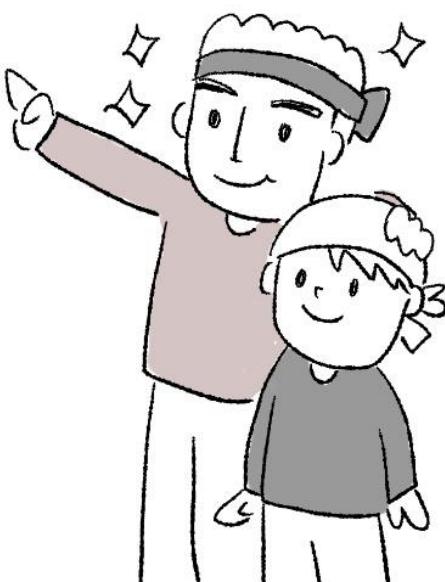
そんなところから
農家になれた
自分たちの経験は
きっと参考になる
はずだから

誰か
大野で米農家
やりたり人
居ませんかー!!

じぶんが今までやつてきて
うまくいったこと
うまくいかなかつたことを
まとめて
就農の道しるべを作
ろうとしています

今後は、研修生を
受け入れられるように
資格も取つて いこうと
思っています

5年後の危機：
すぐそこまで来ていて
時間がありません。
やることもたくさんだけれど
今から動いていきます。



私事ではござりますが、この場を借りて皆様にご報告があります。
嫁、サキのお腹にこの度新しい命を授かりました。

来年の2月末に出産予定です。

お米の販売・ナバナやソラマメの農協出荷・狩猟

和菓子の販売…やっとやっと農家としてやっていける

土台作りが

できました。

まだまだ不安

なことだらけ

ですが、新しい家族と一緒にこれからも結農園として皆様に
美味しいお米・和菓子・サービスを提供していければなと
思っております。

出産からしばらくは、お米袋のデザインや漫画など簡易的な
ものになってしまふかもしれません、どうぞよろしくお願ひ致します。

